

東レ名古屋の概要



1



2

東レ名古屋の概要

所在地	名古屋市港区大江町9番地の1		
敷地面積	38.3万m ² …… 親和グラウンド除く		
事業場の構成	製造部、樹脂製造部、ケミカル技術部、樹脂技術部、事務部、工務部、化成品研究所 関係会社：9社、協力会社：72社（構内常駐22社）		
従業員数	社員 関係会社 協力会社	454名 475名 247名	H18.7.1現在
主要製品	ケミカル 繊維 プラスチック	フレークラクタム、AH塩、石膏、 ファインケミカルズ ナイロン6・66チップ、ナイロンステープル ナイロン6・66樹脂、PBT樹脂、PPS樹脂	

3

■ 東レ名古屋事業場沿革

昭和26年	合成繊維ナイロン6原料のカプロラクタム、 ナイロンステープル、ナイロンチップの生産開始
昭和31年	ナイロン樹脂の生産開始、第2工場完成
昭和37年	PNC法によるカプロラクタム生産開始
昭和38年	第3工場完成
昭和46年	石膏の生産開始
昭和50年	PBT樹脂の生産開始
昭和55年	ファインケミカルの生産開始
昭和61年	PPS樹脂の生産開始
昭和63年	自家発電用の排煙脱硫装置が完成
平成元年	樹脂応用開発センターの開所
平成2年	IC封止材の生産開始
平成3年	API樹脂の生産本格開始
平成6年	ISO 9001認証取得(樹脂)
平成10年	ISO 14001認証取得
平成15年	IC封止材の生産収束
平成16年	カプロラクタムの生産を収束、東海工場に集約効率化

カプロラクタム：ナイロン6原料

4

